

平成30年10月31日

KYB株式会社

代表取締役会長兼社長執行役員 中島 康輔 殿

カヤバシステムマシナリー株式会社

代表取締役社長執行役員 廣門 茂喜 殿

国土交通省住宅局建築指導課

免震・制振オイルダンパーの大臣認定不適合等に関する所有者等関係者への
説明体制の強化について

先般、平成30年10月16日付け国住指第2302号で、国土交通省住宅局長から貴社に対して指示をした所有者等関係者への丁寧な説明が十分に進んでおらず、不特定多数の者が利用する施設についての物件名公表に向けた所有者等への意向確認も進んでいないことから、下記のとおり体制の充実等を図るようお願いする。

記

第1 所有者等関係者への説明体制の充実

1. 進捗管理の総括責任者の設定

貴社において、対象物件に係る所有者等へ説明、物件名公表に向けた協議、構造安全性の検証等の進捗状況の管理や、課題等に関する国土交通省との連絡調整を担う総括責任者を設定すること。

2. 説明体制の充実

所有者等関係者への説明に当たっては、所有者との橋渡し役となる建設会社、不動産会社毎の担当グループを設定するとともに、対象物件毎の進捗管理の担当者を決め、構造安全性の検証のためのデータ提供等を行う技術部門と十分に連携し、迅速かつ網羅的に所有者等関係者への丁寧な説明を進めること。

第2 個別物件毎の進捗管理表の作成

貴社において、対象物件毎の物件データ・進捗状況から成る進捗管理表（別紙1参照）を作成し、日々、国土交通省と情報共有を行うこと。

併せて、同表について、建設会社毎の物件の進捗管理状況、物件用途毎の進捗管理状況の把握など、多角的に分析（別紙2参照）を行い、課題を把握し、国土交通省とも情報共有を行うこと。

第3 目標設定と進捗管理

上記の進捗管理表に係る進捗プロセスごとに、目標時期を設定し、体制を機動的に対応・強化するなど、目標達成に向けて進捗管理を行うこと。

*構造安全性の確認については、年内を目途に、全てにおいて検証を終え、第三者機関の確認を受けることを目標とすること。

K Y B (株) 等による免震・制振オイルダンパー関係の説明状況

○所有者等関係者への説明状況

・納入先の建設会社 122 社のうち●社に連絡済み。

・対象物件数 983[※]件のうち、●件の所有者等関係者に説明ができ、うち●件について公表。[※]物件調査を進めていく中で、事実誤認が判明し 987 件から 4 件減少

(1) 建設会社毎での物件の進捗等の状況は、以下のとおり

建設会社名	件数	所有者等関係者への説明(件数)	公表合意(件数)
...			
合計			

(2) 用途毎の進捗管理状況は、以下のとおり

【免震】 900 件(上記の理由に加えて、物件用途の誤認もあり、用途毎の件数も変更)

用途	件数	所有者等関係者への説明(件数)	公表合意(件数)
...			
合計			

【制振】 83 件

用途	件数	所有者等関係者への説明(件数)	公表合意(件数)
...			
合計			